

(令和6年5月11日、12日、18日、19日開催分)

第14回議会報告会「議員と語ろう会」

- 1 テーマ①「消防団員不足について」に対する御意見
 テーマ②「学校給食費の無償化について」に対する御意見
- 2 市政に関する御意見に対する議会（委員会）の回答
- 3 会場にて回答済み及び各委員会にて把握しておくとした御意見

会場	班	班 長	班 員（議席順）
弥生地区公民館	1 班	井上 清三	森 三千年 染矢 和陽 戸高 秀世 本田 房代 山野内真人
鶴見地域コミュニティセンター田の浦分館			
畑野浦地区公民館			
佐伯市役所（6階 大会議室）			
八幡地区公民館	2 班	福嶋 勝彦	梶川 善寛 高橋 圭一 河野 豊 浅利美知子 西條 隆洋
直川地域コミュニティセンター			
米水津地域コミュニティセンター			
渡町台地域コミュニティセンター			
大入島地域コミュニティセンター	3 班	後藤 勇人	廣津留龍二 大崎 栄治 高司 政文 塩月 健治 上田 徹
宇目地域コミュニティセンター			
上浦地域コミュニティセンター			
上堅田地区公民館			
青山地域コミュニティセンター	4 班	富松 万平	坪根 大吉 本杉 貴志 大野 達也 御手洗秀光
本匠地域コミュニティセンター			
鶴見地域コミュニティセンター			
鶴岡地区公民館			

大分県佐伯市議会

(令和6年5月11日、12日、18日、19日開催分)

第14回議会報告会「議員と語ろう会」

1 テーマ①「消防団員不足について」に対する御意見

会場	班	ページ	班 長	班 員（議席順）
弥生地区公民館	1班	1	井上 清三	森 三千年 染矢 和陽 戸高 秀世 本田 房代 山野内真人
鶴見地域コミュニティセンター田の浦分館				
畑野浦地区公民館				
佐伯市役所（6階 大会議室）				
八幡地区公民館	2班	1～4	福嶋 勝彦	梶川 善寛 高橋 圭一 河野 豊 浅利美知子 西條 隆洋
直川地域コミュニティセンター				
米水津地域コミュニティセンター				
渡町台地域コミュニティセンター				
大入島地域コミュニティセンター	3班	4～6	後藤 勇人	廣津留龍二 大崎 栄治 高司 政文 塩月 健治 上田 徹
宇目地域コミュニティセンター				
上浦地域コミュニティセンター				
上堅田地区公民館				
青山地域コミュニティセンター	4班	6～7	富松 万平	坪根 大吉 本杉 貴志 大野 達也 御手洗秀光
本匠地域コミュニティセンター				
鶴見地域コミュニティセンター				
鶴岡地区公民館				

大分県佐伯市議会

No.	班	会場	第14回のテーマ「①消防団員不足について」に関する意見等
1	1班	鶴見田の浦	大島には消防団員が4人しかいないため、消防団に頼るのではなく、自分たちでどうにかしようと声が上がっている。実際、消火器や消火栓の使用方法的の講習も行っている。消防機材、ポンプ等を地区に使わせてもらいたい。
2	1班	畑野浦	消防団として現場に行くと、報酬を貰っているから当たり前と言われることがある。団員は自分の仕事があり、家族もある中で活動しているということを地区の方々には御理解いただきたいという願いがある。
3	1班	畑野浦	消防団の定年制、地域によって対応が違うので検討していただきたい。
4	1班	市役所	非常時の時に手伝えるように、臨時の消防団員みたいな育成を考えては。
5	1班	市役所	消防団に避難訓練に参加してくれと言ったら、消防署の許可が下りなければ動けないと言う。おかしいのではないかな。
6	2班	八幡	佐伯市に居住している人は、女性の方が多い。女性消防団の数を増やすことによって、各地区で紙芝居の読み聞かせ活動の更なる充実や災害時には、住民と一緒に逃げるなどができるのではないかな。さらに小学校や中学校などで活動してもらうことで、将来防災に意識の高い人を育ててもらうこともできる。意識を醸成するによっていざという時に、子どもたちが災害に遭わないように対処して貰えば、消防団の負担も軽くなると考える。
7	2班	八幡	消防団の主力は、普段仕事を持つ方々なので、災害が起こった際の必要な技能などの訓練は必要だと思う。しかし、出初式などは家庭を持っている方などには、無駄ではないかな。仮にやるのであれば、出勤団員に負担なく実施できることを考えてほしい。一方、報酬面については、国の基準に追いついたことは評価したいと思う。ただし、基準に追いついたから終わりではなく、体を酷使して団員をしていただいているので、協力を得るためには、報酬の上乗せを今後もしていく必要があるのではないかな。

No.	班	会場	第14回のテーマ「①消防団員不足について」に関する意見等
8	2班	八幡	消防団というのは、指揮者の指揮があって、現場で行動しないと誰かが怪我をする事態となる。そのために出初式等の訓練がある。団員報酬を国の基準に揃えてもらったことはありがたいが、これが消防団員の入団促進にはつながらないと思う。理想として、地元のために防災意識を持って参加することを、地域の子供達への教育を通じて親世代にも伝えてほしい。
9	2班	直川	消防団員不足は、もうどうしようもない現状である。AIやロボットなどの技術を使っていけば良いのではないかな。
10	2班	直川	団長などの報酬は納得できるが、実際に動き回る団員報酬をさらに手厚くすることも必要ではないかな。
11	2班	直川	私たちが消防団に入った頃は、勤めていた事業所の所長なども消防団で出動することに理解があった。市から事業所などに消防団員の出動について、改めて要請することも必要ではないかな。
12	2班	直川	直川でもサラリーマンが多く、昼間の時間に直川にいない人が多いのではないかな。市のホームページに掲載されている消防団協力事業所を見たが、あまり多くないと感じた。もっと増やす必要があるのではないかな。
13	2班	直川	佐伯市も直川地区も少子化でどんどん人が少なくなっているが、一方で外国人移住者や技能実習生は増えている。大分県内では竹田市で外国籍の人が消防団に入団している新聞記事を目にしている。佐伯市でも外国籍の人に消防団へ入ってもらうなどの検討や調査をしたことがあるのか。
14	2班	直川	委員会の先進地視察において出初式と操法大会のイベント見直しの事例が出ていたが、議会としてどういう意見を持っているのか。
15	2班	直川	訓練については、みんなの命に関わること。イベントについては、時代に合わせて先進地事例を踏まえて見直す余地があると思うので、検討をしていくべき。

No.	班	会場	第14回のテーマ「①消防団員不足について」に関する意見等
16	2班	米水津	消防団が有事の際にすぐに出動できるように市として企業・事業所に対して事前に要請し、スムーズに出動ができる体制を整えるべきではないか。
17	2班	米水津	私の所見だが、消防団組織は昔と変わらない完全な縦社会。従来通り、操法大会、出初式をやる。消防団もぼちぼち変わらないといけないと思う。消防団で活動するためには支えてくれる家族へのサービスも必要などの意見が団員内である。運営費の補助が欲しい。
18	2班	米水津	消防団を退団した人でも、火災現場に駆けつけて手助けをする組織があったらよいのではないか。
19	2班	渡町台	消防団の操法大会も競技的な部分があって、選ばれたメンバーに精神的な負担があるので見直した方がよいと思う。あわせて企業誘致などで若者の居場所があれば、消防団減少の食い止めになるのではないか。議会としても企業誘致から若者が定住できる環境づくりをしてほしい。また、昔の消防機庫は、地区が建てて、車がぎりぎり入るような機庫もある。合併時に市に移管したような記憶があるが、一度調べていただきたい。最後に視察報告の中で、埼玉県三郷市の消防団サポーター制度があった。深夜の火事現場で、明日の仕事がある消防団と消防団OBの方が交代できるようなサポーター制度があればよいのではないか。
20	2班	渡町台	消防団の年額報酬増額は、ありがたい。しかし、今年から消防団の運営費が全額カットとなった。このことで一番困っているのは、女性消防団員である。先日他市との交流会の際にお茶を出すお金もなく、自費で対応したとのこと。予算はしっかりと使わないといけないことは認識しているが、なぜカットとなるのか。女性消防団に申し訳ないと思っている。また女性消防団が操法など、活躍できる場を柔軟に作っていく必要もあるのではないか。さらに、操法大会で佐伯地区の地区大会をする際に、消防署の指導は受けられない。他の地区は、地区大会がないため、公平性を確保するためとのことだが、競技をするための訓練ではないので、本末転倒ではないかと思う。この件を常任委員会の中でも取り上げてほしい。
21	2班	渡町台	消防団員はお金が欲しくて消防団をやっているのではない。予算の決め方とか消防団のあり方っていうのを考えてほしいと思う。

No.	班	会場	第14回のテーマ「①消防団員不足について」に関する意見等
22	2班	渡町台	地区防災会と消防団の間に何があったらいいのか。その辺の底辺を拡大すると消防団も増えるのではないかな。
23	3班	大入島	地域には年配の方がほとんどである。そういう方を活用する消防団活動を考えていただければ少しはよくなるのではないかな。手当も大事だが、地域によっては、火災が起きてすぐ出られる人が求められるのではないかなと思う。
24	3班	大入島	同じような意見だが、現在残っている年配の人が、消防の機械の操作を覚えておかないと間に合わない。当然ヘリが来るまで家は焼けてしまう。だから日頃の訓練を地区で、高齢化した人たちにも教えておいてもらわないといけないと思う。
25	3班	大入島	消火栓が各地区地区にかなり整備されている。消火栓を活用して初期消火すればよいのではないかな。
26	3班	大入島	(上記意見の関連)島で消火栓を使うと、管のところにたまった汚れが回ってきて生活用水が濁ってしまう。だから極力激しく出さないよう規制している。なお、消火栓の立ち上がりをサポートする機械を付けてもらえば点検等が楽になる。
27	3班	大入島	家に大体残ってるのは女性なので、もうちょっと女性を利用したら…利用って言ったらあれですけど、ちゃんと指導(防火訓練)したらどうか。
28	3班	大入島	石間の消火栓は全て定点に置いて届かないところはないつもりである。しかし、使い方が分からない高齢者ばかりのため、消防団員が定期的に使い方を説明してくれればよいと思う。
29	3班	宇目	団員が勤務中であれば、仕事を中断して現場に行くこととなる。団員を雇用している事業所に優遇措置があれば、団員も気兼ねなく活動できるのではないかな。

No.	班	会場	第14回のテーマ「①消防団員不足について」に関する意見等
30	3班	宇目	資料に団員の手当はいろいろ挙がっているが、作業の手当がないという意見も聞いている。団員になっていない人が「いいな」というような優遇措置を講じていただければ、団員は増えなくとも留まるのではないかな。
31	3班	宇目	分団からの意見だが、分団の運営費がほぼない状態になっている。食料品を購入するのも手出しになり、電池等の消耗品も消防本部の了解があるなど、ややこしくなっているため、融通がきくようにできないかな。
32	3班	宇目	例えば60歳で退団しても本人が希望すれば70歳までは予備団員みたいな形で残ってもらって、機械が使えるとか万一のときに出動してもらえるようにしたらどうか。機能別分団は消防本部の指揮命令系統なので、分団の指示で動くことができるように。
33	3班	上浦	地域には若い人たちがいるものの、入団に至らない。何か消防団に対してのメリットが必要ではないかな。私たちのときは、地域を守るという使命感で入っていたが、そのところをどうしていくかが課題じゃないかなと思う。
34	3班	上浦	私の地区では若者もいない。来年70歳になる私がまだ現役の団員である。若い人がいて入ってくれないのではなく、今後入る人もいなくなったときにどうするか。そういう事例があるというのを知って考えてほしい。
35	3班	上浦	団員でなくとも隣の家が火事になれば何とかして消したいと思うのが人間である。その際、ある程度の保障をしてもらわないと困るのではないかな。
36	3班	上堅田	東日本大震災では消防団員が200数名亡くなっている。その主な原因が貧弱な装備のために亡くなっているという報告がされている。各分団に対し、どういう装備が要るのか、装備に対する補助も必要ではないかな。
37	3班	上堅田	区長として消防団には大変感謝している。区として、消防団が困っていれば全面的にサポートしていきたいと考えている。

No.	班	会場	第14回のテーマ「①消防団員不足について」に関する意見等
38	3班	上堅田	そもそも団員になるつもりのない方の意見を聞いたことがない。動機づけにつながるよう、そのような意見を集約できる形を検討したらよいのではないか。
39	4班	青山	お金が直接団員に下りるようになっていて、自由に使えるお金がない。飲食するときはお金を集めている。前に比べるとコミュニケーションを取るのが難しくなっている。お金は消防団が活性化するような形で使えば良いと思う。ある程度自由に使えるような形にできないか。
40	4班	青山	年代にいったら辞めていく代も多くて、下が入ってこない。訓練が面倒くさい、きついでは、今の若い人たちは入ってこない。いろんな訓練の簡素化がされてきて、出初め式や今まで長かった挨拶も、今回も少なかった。操法大会も今までの内容よりも簡素化されて団員不足を考えての施策と思っている。
41	4班	青山	夜警は必要なのか。
42	4班	本匠	本匠でも消防団員不足は顕著な状況。昔は本匠だけでやっていたのが佐伯まで行ってやらなければいけない、そういった部分で意見が出る部分もある。若者の価値観もちょっと変わってきた感じがして、昔はよく乾燥小屋が焼けてしょっちゅう火事が起こっていた。火災の発生件数が去年はちょっと1件あったが、減っているので、皆そこまで消防に対しての必要性を感じてないことが原因じゃないかと思っている。
43	4班	本匠	若い人は佐伯市とか弥生とか、他の地域に家を建てて、地元に残っている人は、団員さんで何かあったときは駆けつけている状態。方面隊は、年齢の高い人も、もう80歳を超えているような人も入ってるので大変だと感じている。
44	4班	本匠	日中、ほとんどの人が本匠の場合も村外へ出ているので、日中の火事の初期消火が非常に厳しいと感じている。少しでも年額報酬を上げてもらえれば、もう若い人は入らないので、やめる人は何とか引きとめるような形でもっていかないと、減るばかりになる。今年が延びてるようにベテランの力はまだまだ必要だと思うので、少しでも改正していくとありがたい。
45	4班	鶴見	機能に絞った取組をお願いしたい。退職した消防職員の技能が活かされていない。消防職員を退職した人を中心に有事の時だけ初動で対応する機能を作ることを提案する。

No.	班	会場	第14回のテーマ「①消防団員不足について」に関する意見等
46	4班	鶴見	消防団員が鶴見にほとんど住んでいない。4人集めるのも大変。訓練が負担となっているが訓練をしないと何にもならない。OBの団員を使って消防機能を充実するような方策をとってほしい。各団に数人の補助の団員を採用するような方法がいいのではないかな。
47	4班	鶴見	消防積載車の管理等を機能別消防団の誰かにお願いする。消防団員は助かる。
48	4班	鶴見	地区ごとの消防団員の必要性を整理して、どうしてもこの地区が必要というデータを細かく出した方がいい。こういう話は鶴見なら梶寄地区などの地区で開催してほしい。
49	4班	鶴岡	人口も団員数も両方とも70%減っているのであまり変化はないのでは。人口の減り方と団員の減り方が一緒。改正後の値段を出しているが、その値段で誰がやるかというあんまりやらないと思う。お金の問題ではないというところにはちゃんと考えが行くべきだと思う。
50	4班	鶴岡	火事で出動するときに職場の理解がないと出づらい。企業に対してそうした融通が利くような取組もしていかなければならないと思う。地域に貢献していこうという意識を作る。若者世代に継承させていくことが必要。コミュニケーションをとり、消防団活動はただ火消しに行くのが目的ではなく楽しみも作って取り組んでいったらどうか。
51	4班	鶴岡	地区を統合したり、OBを使ったりを考えては。
52	4班	鶴岡	仕事と両立できないのが大きい。消防に対する意識が低い。地域づくりの観点からも学力とかも大事だが、人づくりが重要ではないか、今の佐伯市においてはそれが見えない。

(令和6年5月11日、12日、18日、19日開催分)

第14回議会報告会「議員と語ろう会」

1 テーマ②「学校給食費の無償化について」に対する御意見

会場	班	ページ	班 長	班 員（議席順）
弥生地区公民館	1 班	1～3	井上 清三	森 三千年 染矢 和陽 戸高 秀世 本田 房代 山野内真人
鶴見地域コミュニティセンター田の浦分館				
畑野浦地区公民館				
佐伯市役所（6階 大会議室）				
八幡地区公民館	2 班	4～6	福嶋 勝彦	梶川 善寛 高橋 圭一 河野 豊 浅利美知子 西條 隆洋
直川地域コミュニティセンター				
米水津地域コミュニティセンター				
渡町台地域コミュニティセンター				
大入島地域コミュニティセンター	3 班	6～7	後藤 勇人	廣津留龍二 大崎 栄治 高司 政文 塩月 健治 上田 徹
宇目地域コミュニティセンター				
上浦地域コミュニティセンター				
上堅田地区公民館				
青山地域コミュニティセンター	4 班	7～9	富松 万平	坪根 大吉 本杉 貴志 大野 達也 御手洗秀光
本匠地域コミュニティセンター				
鶴見地域コミュニティセンター				
鶴岡地区公民館				

大分県佐伯市議会

No.	班	会場	第14回のテーマ「②学校給食費の無償化について」に関する意見等
1	1班	弥生	給食費無償化というが予算はあるのか。議会として、請願が出たから何でもかんでも議決して執行部に投げるようなやり方は疑問がある。
2	1班	弥生	財源がないのであれば、無償化にするメリットは何なのかと思う。
3	1班	弥生	無償化するよりは、きちんとした食材を使ってほしい。
4	1班	弥生	無償化する、オーガニックをする、地場食材を使うとなればお金がかかる一方ではないか。
5	1班	弥生	無償化するよりは、半額負担程度の方が良いと思う。
6	1班	弥生	無償化しました、財源がなくなったので来年からやめますとかにならないように、慎重審議をお願いしたい。
7	1班	弥生	無償化よりも、ちゃんとした食材が食べられるという方がよい。外注して冷めた弁当を給食に出すようなことは避けてほしい。

No.	班	会場	第14回のテーマ「②学校給食費の無償化について」に関する意見等
8	1班	弥生	給食費を滞納している人がいる。納めている人が負担していると考え、無償化したほうがいいかと思う。
9	1班	弥生	ふるさと納税を財源に充てるという話も聞か、ふるさと納税は地域の活性化のためのものであると考える。
10	1班	弥生	佐伯市は医療費も無償にして、給食費も無償にすると変じゃないか。自分たちが苦労したからではなく、子育てするのにお金がかかるのは当然ではないか。
11	1班	弥生	給食は大事な食事である。親が払わなくてどうする。
12	1班	弥生	市も財源に余裕がないのなら、無償化することによってもっと苦しくなるのではないか。
13	1班	鶴見 田の浦	今の時代の流れとしては、給食費は無償化になるのではと思っている。
14	1班	鶴見 田の浦	無償化というか、誰がお金を出すのかという問題だと思う。保護者が出すのか税金で出すのかということ。私は、当事者負担だと思う。
15	1班	鶴見 田の浦	幼稚園や保育園、そのレベルまでならと思う。
16	1班	畑野浦	義務教育期間の無償化はありがたいと思う。

No.	班	会場	第14回のテーマ「②学校給食費の無償化について」に関する意見等
17	1班	畑野浦	子育てすると負担になってくると思うので、無償化は賛成。
18	1班	畑野浦	義務教育期間であれば賛成。
19	1班	畑野浦	無償化は必要だと思うが、税金を上げるということにはならないように。
20	1班	市役所	12月定例会で請願が採択されて、すぐに無償化になると思っていた。PTAも要望していることなので、佐伯市もぜひお願いしたい。
21	1班	市役所	豊後高田市や日田市のような、佐伯市よりも規模が小さい自治体を実施している。佐伯市は2億円かかるというが、もう少しいろいろと精査をして、それくらいのお金が出せないのかと思う。
22	1班	市役所	子どもが3人もいたら、かなりの負担になってくる。
23	2班	八幡	給食無償化に反対まではしないが、地場産食材の拡充を求める。無償化を実現するために作っている人の顔が見えない外国産の食材を活用して無償化しても意味がない。無償ではないが、佐伯市は、安心・安全な給食は食べられることをPRすることによって安心して子どもを育てようということになるのではないかな。ただし、生活困窮家庭については市独自で個別に支援をすることはしてもらいたい。
24	2班	八幡	大賛成。予算が大変だとは思いますが、他市の事例では、豊後高田市は、ふるさと納税を少子化対策にほとんど充てていると思う。佐伯市もふるさと納税が増えているようにあるが、こういうことに使えば良いのではないかな。少子化で国が減じる。地方から消えていく。本気で取り組まないといけない課題なので、ぜひ給食費の無償化をやってもらいたい。
25	2班	八幡	理想としては、無償化が良いが、説明資料の負担額を見て驚いている。佐伯市の厳しい財源の中で、高齢者は、年金などからの負担になるとちょっときついと思う。財政が厳しければ他市の真似をするべきではない。給食費無償化は、今のところ反対である。

No.	班	会場	第14回のテーマ「②学校給食費の無償化について」に関する意見等
26	2班	八幡	国の農業に対する施策は、いい加減。給食の食材なども地元で揃わないではなく、揃えていない。真剣に取り組んでほしい。
27	2班	八幡	給食の無償化は大賛成。少子化は、長期的な問題なので、投資として給食の無償化を手始めに高校まで、教育費無償化でいいと思う。とにかく子育て世代を助ける。佐伯市は、結構、自然の魅力があって、都会の人が佐伯に来て「いいな」と移り住んでいる人も、周りにも何人かいる。住みやすいという底力がある所だと思う。子育て支援を手始めに、やっぱり人が住みやすい地域を長期的なプランで見直してもらいたい。
28	2班	八幡	ざっと計算すると1世帯あたり1万6,500円(約3万3,000世帯と仮定)の負担となる。年金暮らしの人は、ずっと了承ということにはならないのではないか。その負担額を幾らまで減らすことが出来るかということが大事ではないか。
29	2班	八幡	給食費の無償化をするための財源を他の無駄な予算を削減して捻出することが出来るかを議会として提案して、無償化に使うべき。審議するだけではなく、自ら提案をしないと進捗しないと思う。
30	2班	八幡	無償化をすることによって外部の業者に委託をすることになれば、画一的な給食となって、「ごまだし」など郷土の食文化の衰退というような形になると思う。子どもたちに佐伯の食を伝える観点も大事と考える。
31	2班	直川	やっぱり市民からすると無償化してもらえるとうれしいと思うが。予算が大丈夫かということが気になる。
32	2班	直川	食べることですから、佐伯市内の土地で、有機栽培で作ったものを使ってほしい。
33	2班	直川	無償化の議論をしていくことは、非常によいことだと思うが、無償化を実施するに当たって、子供同士でこの家庭は無償だ。無償でない。とそういう区分が子供の間で表面に出ないように配慮し、財源と相談しながら慎重にやっていただきたい。あわせて子供たちの朝食の問題もある。市内でもこども食堂で支えているが、子供たちが食事をとれない背景なども重々把握して、給食費無償化の検討を重ねてほしい。
34	2班	米水津	給食費の無償化は、若い人たちにとって喫緊の課題ではないか。市が行っている1,000円の補助も感謝しているが、大分県内の他市では、無償化に取り組んでいる。若い人たちが住みよいまちづくりを進めることが、人口減少の歯止めにも一番なると思う。

No.	班	会場	第14回のテーマ「②学校給食費の無償化について」に関する意見等
35	2班	渡町台	基本的には、無償化賛成。理由としては、保護者の経済的負担を軽減する効果があるから。ただし、国の動向と市の財源をどうするかをきちんと精査して、無償化できるなら、その方向に行ってほしいと思う。
36	2班	渡町台	鶴谷中学校で給食を始めたときに不登校率が減って問題が解消したことがあった。無償化は、賛成。私立幼稚園の取扱いなども今後議論する中でどうするのかも考えてほしい。
37	2班	渡町台	子供たちはもう大きくなっているが、高校の無償化なども共働き世帯で所得制限によって、受けることができなかった。可能であれば、所得制限などはなくし、給食費の無償化をしてほしい。しかし、財源がないことには、進めることができないので、議員には多くの議論をしてほしい。
38	2班	渡町台	宇佐市は、ふるさと納税の寄附を活用して給食費の無償化を始めたと聞いている。佐伯市もふるさと納税の寄附金を活用しての可能性はどうか。
39	2班	渡町台	昔は、親が給食費を支払って弁当なども作って用意してくれた。財源があればよいが、親が子供の食費を支払うのは当たり前の話。他の方から不登校の話などと聞くと納得する部分もあるが、渡町台地区全員の意見ではないし、難しい問題。
40	2班	渡町台	何でも無償化にしてしまうと無償化が当たり前になってしまう。給食を一生懸命に作って子供たちに提供して下さる方がいる中で、全部無償化するのではなく、半分ぐらいの負担を減らして、お互いが感謝をする関係がよいのではないか。
41	3班	大入島	かなり優先度の高い施策であると思う。本来であれば国の政策として取り組むべき問題だろうと思うが、そうならない以上は、佐伯市としても率先して進めなければいけない問題だと思う。
42	3班	大入島	無償化については賛成である。なぜかという、やはり子供というのは国の宝であり、国の財産と私は思う。それで、将来の投資と思っているの、賛成である。
43	3班	大入島	日本が人口減少の中で、子育てを1番重要視しなければいけないことはもう皆さんはもう十分分かっていると思う。そのためには、できればもうこういうことを議題にすることがおかしいと思う。こういうことはもう国からして無償にするのが、本当のやり方だと思っている。

No.	班	会場	第14回のテーマ「②学校給食費の無償化について」に関する意見等
44	3班	上浦	無償化に対しての問題は、なかなか簡単にはいかないと思うが、ほかの市もできているので、佐伯市も考えていったほうがよいのではないかな。
45	3班	上浦	安くてもいいから食べたらお金を払うべきという気持ちはあるが、今の現状を考えると無償化にしてもいいのかなと非常に揺れている。ただ、無償化する場合は全部一緒にすべきである。
46	3班	上堅田	いろんなやりくり方法を考えてやっていただきたいと思う。
47	4班	青山	無償化は予算も何も考えなければするに越したことはない。充実した予算の支援策が注目されている市町村に移住者が多い。ある程度県内から移住を考えるべき。その意味では子どもの政策をするべき。
48	4班	青山	佐伯市の財源に余裕があれば給食も当然カバーしてあげたらいい。財源が分かって流れがこういうふうによくなっているということなら無償化して欲しい。佐伯市がどうなっているかを確認する部分を作って。
49	4班	青山	無償化する場合の順位は幼稚園を先にして次小学校、中学校にするのか、一番どこが負担がかかるのは中学校じゃないのかなと思う。中学校になったら、もうお金が出ないとなったらとてもやっぱり気持ち的に先細りになると思う。
50	4班	青山	給食費を払えない家庭もあるので無償化にしたほうがいい。
51	4班	青山	無償化にするなら一番良い。何かを削らなければいけないのは難しい。
52	4班	本匠	区長会の要望事項に半分も答えてないような苦しい財政状況と言いながら、無償化を推し進めて議会で議決したことが全く我々にはわからない。その辺をまず説明してほしい。どういう観点でこういうのが出てきたか。

No.	班	会場	第14回のテーマ「②学校給食費の無償化について」に関する意見等
53	4班	本匠	子供たちが住んでる場所によって豊後高田市だったら給食無償、佐伯市は払わないといけないというふうなことが起きること自体が本来おかしいので、国、県に要望していくのが大事だろうというふうに思っている。財政が限られてる中で、幼小中全部にいくのか。例えば、中学校から先行していけば、いずれ小学校中学校上がってくるので、そこで恩恵を受けられるというところとか、別府市、中津市のように、第2子は半額で第3子になったら、無償になるというような形のいろんなパターンが考えられる。
54	4班	本匠	給食費を払ってない人がいる。豊後高田市は全額を払うとなっているが、ここの子供関係に豊後高田市相当お金を使っている。それで、移住者が去年まで一位であったけど、今度は全国で2番目に移住者っていうような結果が出ている。給食費を払えないものがあれば、そういう人だけにはいけない。給食を半額にするとか、何か柔軟な体制がとれないか。
55	4班	鶴見	大賛成で中学まで無償化していいと思う。無償化をしてから、喉にものを詰ませた児童の責任を見守りが甘いと言って教師が取られるのをどんなもんかなと思った。
56	4班	鶴見	国が率先してすべき。
57	4班	鶴見	中立の立場で、当然無償化にすれば税金も上がる。減税して無償化にはできない。これが少子化対策になるのか。
58	4班	鶴見	どこかを削ってでも無償化すべき。払えないというのがなくなり平等になる。子育てしやすい街だなというのが前面に出れば良い。
59	4班	鶴岡	国が負担すべき。各市町村の財政を圧迫するのではなく。
60	4班	鶴岡	無償化には反対。私たちの子供に係る給食費の無償化のお金がお金に困っている高齢者に届けばいいなと思っている。
61	4班	鶴岡	子育て世代なので無償化は必要。幼稚園から中学まですべて行ってほしい。県内の他市町村でできてて佐伯市で何でできてないのかと感じる。

No.	班	会場	第14回のテーマ「②学校給食費の無償化について」に関する意見等
62	4班	鶴岡	今まで給食費を払ってこなかった人はどうなるのか。
63	4班	鶴岡	かかる費用を抑えるために給食センターを集約してはどうか。

(令和6年5月11日、12日、18日、19日開催分)

第14回議会報告会「議員と語ろう会」

2 市政に関する御意見に対する議会（委員会）の回答

会場	班	ページ	班 長	班 員（議席順）
弥生地区公民館	1班	1～2	井上 清三	森 三千年 染矢 和陽 戸高 秀世 本田 房代 山野内真人
鶴見地域コミュニティセンター田の浦分館				
畑野浦地区公民館				
佐伯市役所（6階 大会議室）				
八幡地区公民館	2班	2～3	福嶋 勝彦	梶川 善寛 高橋 圭一 河野 豊 浅利美知子 西條 隆洋
直川地域コミュニティセンター				
米水津地域コミュニティセンター				
渡町台地域コミュニティセンター				
大入島地域コミュニティセンター	3班	3	後藤 勇人	廣津留龍二 大崎 栄治 高司 政文 塩月 健治 上田 徹
宇目地域コミュニティセンター				
上浦地域コミュニティセンター				
上堅田地区公民館				
青山地域コミュニティセンター	4班	3	富松 万平	坪根 大吉 本杉 貴志 大野 達也 御手洗秀光
本匠地域コミュニティセンター				
鶴見地域コミュニティセンター				
鶴岡地区公民館				

大分県佐伯市議会

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会(委員会)の回答	委員会等
1	1班	鶴見 田の浦	【ケーブル切断防止策について】 昨年の11月に、レジャーのヨットによってケーブルが切断されて未だに完全復旧していない。これはもう3回目です。島民は非常に憤慨している。4回目を防ぐために、行政が行う具体的な防止策を聞きたい。	事故の再発防止策について、委員会で協議し、反射板を光ケーブル線に取り付けるなどの視覚的に分かる注意喚起を提案しましたが、執行部から、鉄塔、光ケーブルの強度など技術的な問題があり、その実現は困難である。他の再発防止策として、海上保安庁等、元の間海峽渡航時の注意チラシを関係各所に配布してもらうことにより、事故防止の注意喚起を促すこととした、との回答がありました。なお海上保安庁の対策としては、「海の安全情報(全国規模のスマートフォン用サイト)」地図内で、元の間海峽渡航時の注意情報を掲示することになり、すでに実施されています。	総務
2	1班	鶴見 田の浦	【急病人の対応について】 急病人が出たとき、例えば、救急救命隊が船に乗ってきて運んでいくとかの体制はできているのか聞いてみたい。	鶴見大島地区における、救急・火災事案の搬送・出場体制について記された警防計画の提出を求め委員会として内容を確認しました。さらに委員会の中で執行部に対し、救急体制の地区へのさらなる周知を要望しました。	総務
3	1班	市役所	【災害ごみの分別について】 被災したら災害ごみが発生する。災害ごみは分別が大事で、分別しないと復興が進まないというのは分かるが、災害が起こる前に市民にお知らせしておくとのよいのではと思う。	佐伯市清掃課からのお知らせとして、災害ごみの処理方法(分け方・出し方)が佐伯市ホームページに公開されているのでご覧ください。  (佐伯市HP: https://www.city.saiki.oita.jp/kiji0038453/index.html)	総務
4	1班	市役所	【(消防団)分団長以上の報酬について】 国の基準に近づけるように若い団員の報酬を上げることはとてもいいと思うが、分団長以上の年額報酬だけ、今までも国の基準を上回っているのはおかしいんじゃないか。	報酬については、各役職で責務が違うためこのような額になっていると認識しています。	総務
5	1班	弥生	【DMOについて】 前の組織と比較してメリット、デメリットを教えてください。予算は以前の団体と比較してどうなっているのか、統合に掛かった費用もあわせてお聞きたい。以前と比較して、補助金等はどのくらい増えるのか。	執行部に確認したところ、メリットは、地域の観光・地域づくりを担う組織ができた点。組織のスリム化(人員減・事業見直し)が図れた点。国等のDMOに対する支援制度が利用できるようになる点で、デメリットは現時点見当たらない。予算については、令和5年度当初予算額約1億3,470万円に対し、令和6年度当初予算額約1億2,360万円と、約1,110万円の減となっている。また、統合に係る費用は、新法人への出資金100万円と設立準備委員会費用約17万円の計約117万円とのこと。委員会として、DMOが市の委託事業への依存度を下げ、5割を目標に自主財源の確保に努めるよう指導していただきたい旨を伝えました。	建設経済
6	1班	弥生	【葛港市場について】 葛港については、これまで調査・設計委託等により4,000万以上の予算が投入されていると思うが、捨てたということになるのではないかと。このままないがしろにするのか。	今年度予定されている「佐伯駅前・港エリア賑わいまちづくり基本計画」の作成に当たっては、葛港市場を含め、過去の計画との比較や反省点を踏まえて取り組むよう申し伝えました。	建設経済
7	1班	鶴見 田の浦	【市道管理について】 大島の港の海岸通りは市道であるにもかかわらず、周りから草木が出ている箇所が多い。我々も時間を見つけて伐採しているが追いつかない。昨年は初めて市役所から人が来て作業をしていただいたが、今年はどうなのか。	御意見を踏まえて対応を検討するよう、執行部に申し伝えました。	建設経済
8	1班	畑野浦	【観光地等の宣伝について】 大分県で言えば、別府市はとても元気のある市だと思う。佐伯は、住みたいという目玉がない。観光地などをもっとアピールしては。	別府市を参考に、観光地などをアピールするよう執行部に申し伝えました。	建設経済

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会(委員会)の回答	委員会等
9	1班	畑野浦	【ツールド佐伯について】 別府競輪の選手は、地域おこしに協力してくれると思うので、佐伯市にも誘致してみたいかがでしょう。	「ツール・ド・佐伯」における別府競輪選手の活用について提案があった旨、執行部に申し伝えました。	建設経済
10	1班	市役所	【葛港の今後について】 市場閉鎖後、葛港の跡地利用としては、いつ頃までに何をするとかの話が進んでいるのか。早く動かなければと思うのだが。	執行部に確認したところ、今年度策定予定の「佐伯駅前・港エリア賑わいまちづくり基本計画」の中で、葛港のにぎわい施設整備を検討するとともに、「佐伯市みなとオアシス拠点施設PPP導入可能性調査業務」を発注し、葛港市場の解体後、速やかに公民連携による拠点整備ができるよう調査検討を進めている。また、来年度以降、実施に向けての計画を策定することです。	建設経済
11	1班	弥生	【放課後児童クラブについて】 児童クラブに勤務する職員が少なくなっているが、時間が増えたことにより職員の負担が増えたり、ミスが増えたりします。子どもの命に関わることであるので、このような案件については、議論の時間をしっかりとっていただきますようお願いいたします。 また、児童館が廃止となった地区もあります。そうしますと、子ども達の憩いの場がなくなってしまう、子育てが大変になります。このような状況で、少子化が止まるのでしょうか。	放課後児童クラブについてはこれまでも現地視察や執行部との議論をしてまいりましたが、今後もさらに議論を深めていくよう執行部に申し伝えました。	教育民生
12	1班	市役所	【三余館への佐伯地区公民館移転について】 暫定的だが、三余館が佐伯地区公民館となるととても喜んでいる。駐車場も広い使いやすい勝手もよい。ただ、高齢者も多く利用するため、エレベーターを設置することはできないか。	旧三余館を高齢者が利用しやすいように施設整備を検討するよう執行部に申し伝えました。	教育民生
13	1班	弥生	【常任委員会の重視について】 委員会で真剣に審査をして満場一致で議決した案件に対し、本会議で反対意見を言う議員がいる。申し合わせ事項や基本条例を無視しているのではないか。そんなことをしていると、委員長のなり手がなくなるのではないか。	佐伯市議会は委員会中心主義の運営を行っております。委員会の決定というのは、十分に尊重されるべきだと考えていますが、それを踏まえた上でも、個人の意見を述べるということについては規制されるものではありません。	議運
14	2班	八幡	【井戸について】 能登半島地震を受けて先般の3月議会でも一般質問で井戸を掘ったらどうかという案が出ていたようだが、仮に佐伯市で大規模災害があった場合に、海崎地区では、八幡小学校と彦陽中学校が大規模避難所になると思う。明治の時ぐらいから学校があるので井戸があるのではという話になり、調査してみると八幡小学校は埋めていたが、彦陽中学校には、井戸が残っていた。市内には、学校が多くあるので、調査をしてみたらあるのではないか。水が飲めなくても手を洗ったり、生活用水としても活用できると思う。ぜひ調査を検討してもらいたい。	執行部から既存井戸の活用を前提として、新たな井戸の整備や未使用の井戸の改修等に対する補助は、現時点では考えていないとの方針が示されています。	総務
15	2班	八幡	【災害ボランティアの受入れについて】 南海トラフ地震などの大規模災害起きたときには、外部に対して一番に声を上げ、国や関係団体に救援を求めるルートを日頃から作ってほしい。日頃から防災力を強化することも大事だが、大規模災害では、市では対応できない状況となるので、あわせて災害ボランティアの受入れ体制についても常日頃から構築してほしい。	執行部に対し、自衛隊、国、県などとのさらなる関係構築と災害ボランティア受入れ体制の充実を図るよう申し伝えました。	総務

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会(委員会)の回答	委員会等
16	2班	米水津	【公設水産地方卸売市場について】 佐伯市の公設水産地方卸売市場について、葛港は完全にもう閉鎖か。漁協佐伯支店の近くで運営するというような話も聞いている。また、葛港の仲買が鶴見の仲買が入ってくる状況はどうなっているのか。議員も現場に出向いて話を聞いてほしい。	執行部に確認したところ、公設の葛港市場は、施設の老朽化が著しく危険であるため、令和7年度末を目標に廃止する。また、廃止後の市場機能については、大分県漁業協同組合佐伯支店前荷捌所に移転するよう大分県漁協、㈱佐伯魚市場及び本市にて協議をしているところです。また、鶴見市場への葛港仲買人の統合による参入については、合理的な理由なく参入を阻止することがあってはならないため、公平・透明性をもって参入を促していくことです。	建設経済
17	3班	大入島	【大入島へのアクセス等について】 オルレや釣り、レンタサイクルやキャンプなど、島を訪れる人が多くなっている。そのような中、島に渡る方法が分からないという話をよく聞く。標識の問題だと思うが、検討をお願いしたい。あわせて、車で来た人の島に渡っている間の車の置き場がないという問題もある。これは比較的難易度が高いかもしれないが、そこも何とか御検討したい。	葛港エリアにおける駐車場整備に対する執行部の見解を確認したところ、現在策定中の「佐伯駅前・港エリア賑わいまちづくり基本計画」の中で、エリア全体での配置を検討していくとのこと。委員会として、県管理の港口マンパークなど、既存の駐車場の利用ができないか、また利用可能な駐車場の周知について対応を依頼しました。なお、大入島へのアクセス方法の周知に関する御意見については、執行部に申し伝えました。	建設経済
18	3班	宇目	【老人クラブの活動費について】 年間3万6,000円の活動費をいただいているが、10年ぐらい変わっていない。以前は財源確保の取組をしていたが、高齢化が進みできない状況である。クラブの皆さんから増額をお願いされているが、市の財政も厳しい中で上げてもらえない状況が続いている。議員の皆さんからもお願いできないか。	老人クラブの活動費について増額の要望があったことから対応を検討するよう執行部に申し伝えました。	教育民生
19	3班	上堅田	【災害時要支援者について】 日田市では災害時要支援者に対して、市の職員、区長、民生委員、ケアマネ、かかりつけ医がそろって、要支援者に対してどういうふうな支援をするかというのを取決めをしている。佐伯市では現状全て区長に任せっきりである。真剣に考えていただきたい。	執行部に確認したところ、「個別避難計画については、地域住民同士のつながりや助け合いという点を重視し、地域の代表者である区長を中心に、民生委員児童委員や地区団体といった、要支援者の生活に一番近い方々の協力連携により作成していただくようお願いしている。個別避難計画には本人の同意が必要であるが、計画作成が進んでいない地域ではその同意が得られていない。そこを進めることが大切だと思っている」とのことでした。 なお、執行部に対しては、区長と連携をとって協力体制を整えることや、できていない地区には市から働きかけ計画作成を進めていくことを申し伝えました。	教育民生
20	4班	鶴見	【消防団の編成見直しについて】 1地区1団ではいざというときに動きにくいので、団を統合するなど地域の実情に合った組織編制については議題に挙がったか。	執行部に確認したところ、今後も人口及び団員の減少により、機庫や分団・部の統廃合等、組織の見直しが必要になってくるものと考えている。地区や各方面隊等とも十分協議を重ね、地域の消防力の低下を招かないよう慎重に取り組んでいきたいとのことでした。	総務
21	4班	鶴見	【備蓄倉庫について】 備蓄倉庫の整備をしようとして土地の話をつけていたらもうその予算がないと言われたことがあるので、現状屋根もない。備蓄倉庫の予算化をしてもらいたい。	執行部に確認したところ、予算については、自主防災組織に対しての補助制度を設けており、状況に応じて対応しているとのことでした。	総務
22	4班	鶴見	【吹浦と東灘の県道604号線について】 対面通行があって朝夕はラッシュになる。県道の改良が喫緊の課題。	市場の統合により交通量が増加する見込みであるため、早期完成に向け、県と連携して取り組んでいただくよう申し伝えました。	建設経済
23	4班	鶴見	【幼稚園の廃止について】 幼稚園は公設だが保育園は民間なので子供が減少するとやめてしまっで地元から幼児教育がなくなってしまう。市の運営についてもチェックを入れながら見守っていく必要がある。	幼児教育の問題について今後しっかりと考えていくよう執行部に申し伝えました。	教育民生

(令和6年5月11日、12日、18日、19日開催分)

第14回議会報告会「議員と語ろう会」

3 会場にて回答済み及び各委員会にて御意見として把握しておくとした案件

会場	班	ページ	班 長	班 員 (議席順)
弥生地区公民館	1 班	1～3	井上 清三	森 三千年 染矢 和陽 戸高 秀世 本田 房代 山野内真人
鶴見地域コミュニティセンター田の浦分館				
畑野浦地区公民館				
佐伯市役所（6階 大会議室）				
八幡地区公民館	2 班	3～5	福嶋 勝彦	梶川 善寛 高橋 圭一 河野 豊 浅利美知子 西條 隆洋
直川地域コミュニティセンター				
米水津地域コミュニティセンター				
渡町台地域コミュニティセンター				
大入島地域コミュニティセンター	3 班	5～7	後藤 勇人	廣津留龍二 大崎 栄治 高司 政文 塩月 健治 上田 徹
宇目地域コミュニティセンター				
上浦地域コミュニティセンター				
上堅田地区公民館				
青山地域コミュニティセンター	4 班	7～9	富松 万平	坪根 大吉 本杉 貴志 大野 達也 御手洗秀光
本匠地域コミュニティセンター				
鶴見地域コミュニティセンター				
鶴岡地区公民館				

大分県佐伯市議会

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会報告会場での回答等
1	1班	弥生	【行政視察について】 議員が行政視察に行かれる際は、佐伯市の抱える地域課題等を念頭に実施していただきたい。	全ての視察に目的をもって行っている。
2	1班	弥生	【光化整備について】 光化を整備することで生じるメリットを教えてください。	情報化も進んでいるが、光化することで、大容量で高速な通信ができる。
3	1班	弥生	【地区要望について】 地区要望は2割しか実施されてない。議員として地域の声を届けるべきだ。	肝に銘じておきたい。
4	1班	弥生	【政策提言について】 市民がもっと政治に、地方行政に参加意識を持つためにも、なおかつその代表である議員の方々が、もっと積極的に政策提言してほしい。	そのような議会にするため、取り組んでいく。
5	1班	弥生	【行政視察への市民の同行について】 議員だけで行くのではなく、地域に携わっている関係の深い方々も一緒に参加できるようにしたら、もっと地域に声が届くんじゃないかと思う。	視察については、私たちもきちっと報告しながら課題に結び付けていく取組をしている。また、経費も伴うこともあり、地域の方も同行というのは難しいと思う。
6	1班	弥生	【佐伯市商工業振興計画について】 佐伯市には商工業の振興計画がなく、行き当たりばったりであると認識している。これをきちんと作っていただき、中小企業の活性化基本条例に基づく目標を具現化するよう取組をお願いしたい。	令和6年3月定例会において、「商工業振興計画の策定に取り組むこと」を趣旨とした陳情書が提出された際、議会として審査しないと判断したことに鑑み、現時点では御意見として把握させていただく。
7	1班	鶴見 田の浦	【島民の老後の現状について】 通院するにも、医療費のほかに船賃やバス代でお金がかかる。国民年金暮らしで、月に6万5,000円ぐらい貰っているが、生活保護の方が高い。非常に生活が厳しい。	結局のところ、ここに住んでいる人口が減っているということが根本的な原因であると思う。医療の問題やそれぞれ個別の問題については、最低限維持してやっていかなければいけないということをこれから十分考えていかななくてはならない。
8	1班	鶴見 田の浦	【日本語学校について】 日本語学校という言葉が出たが、どういったものなのか。もう少し詳しく説明をお願いします。外国人がやたら増えたら不愉快です。治安の乱れとかを心配しています。住民への周知とかはしたんですか。	京都民際という今、京都で日本語学校を運営している。一応包括連携ということで、多文化共生社会の実現に向けた取組。地域の将来を担う人材の育成に向けた取組。また地域産業観光振興に関すること。あとその他地域活性化に関すること。ということで、前の税務署を整備して令和7年の秋に開校予定となっている。周知については、佐伯東小校区の住民説明会を実施している。
9	1班	鶴見 田の浦	【買い物弱者への対応について】 大島の住民のため、社会福祉協議会がボランティアを募り、事前に希望した品物をAコープで買い物をしてくれ、漁協の魚を運搬する船に乗せて大島に運ぶ取組をさせていただいている。それも、現地で購入する同じ値段で。非常に感謝していますが、いつまでしていただけるのかと内心思っています。	同じ値段でというのは驚いた。地域を守るということからもその火を消さないというのは大事だと思っている。
10	1班	鶴見 田の浦	【粗大ごみについて】 粗大ごみについては、庭に放置している現状があるが、処分する際には、港まで持っていけば漁協が運んでくれたりしている。歩くのも大変だという人もいるが、そこまで賛言いんさんなど、なだめている。	回答は特になし

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会報告会場での回答等
11	1班	畑野浦	【人口減少の理由について】 人口減少の理由、何かリサーチしたものがあれば教えてほしい。	人口減については、自然減と社会減というのがある。詳しい原因は今調べている最中だが、佐伯市は、その両方が減の方向に向っている。
12	1班	畑野浦	【畑野浦の人口減少の原因について】 畑野浦は交通の便が悪い。この交通手段をなんとかすれば自然豊かな畑野浦や蒲江に住んでくれるのではないかなと思う。木立に抜けるトンネルを、できるだけ早めに着手してもらいたい。	交通の便が悪いというのは確かである。今後、コミュニティバスの便数や時間帯を充実させていけたらと思う。 トンネルについては、蒲江にも道路期成会というのがあり、県に強く要望しているが、もう少し待ってほしいとの回答である。議会としても、期成会を通じて要望していきたいと思う。
13	1班	畑野浦	【SNSの活用について】 SNSでの情報発信や、更新の頻度を上げて佐伯市の魅力を伝えては。	市は現在、インスタ等により情報発信を行っている。更新も頻繁に行っていると思われるが、注視していきたい。
14	1班	畑野浦	【高齢者へ向けた情報発信について】 SNSを使えない方、高齢者等に合わせた情報発信も対策も考えてもらいたい。	市報と一緒に年4回発行している議会だよりは、記事の内容はもちろん、多くの方々に手にとってもらえるよう工夫している。今後も分かりやすく伝えていきたい。
15	1班	畑野浦	【コミュニティナースについて】 私は、たぶん佐伯市で唯一のコミュニティナースです。私は看護師ですけど、資格がない方もコミュニティナーシングといって地域や教育に携わっていくこともできます。地域のコミュニティを築いていくには人のつながりが重要だと思いますので、皆様の御理解をお願いします。	コミュニティナースという言葉は初めて聞いた。私たちも勉強していきたい。
16	1班	畑野浦	【交通安全について】 道路に穴があるところがある。高齢者がシルバーカーで渡るときとか危ない。	事故が起こっては大変なので、ぜひ振興局に一報をお願いしたい。
17	1班	畑野浦	【消防団員の報酬について】 消防団員減少の理由として、訓練の回数が多いなどの理由があるのに、訓練参加の報酬が3,000円から2,500円に減額されている。通常考えであればここは増額すべきと思う。	その点については、委員会の中でも質問があったが、消防本部からは報酬引き上げに伴いバランスを考慮して、また方面隊長会議においても了承を得てなどの回答であったと思うが、総務常任委員会でも再度協議してみたい。
18	1班	畑野浦	【包括連携協定の内容について】 佐伯市は、郵便局と包括連携を結ばれたと思いますが、どのような内容なのか。議員の方々は協定の内容を把握されているのか。	ホームページに掲載されているが、具体的にどういう活動をするのかといった部分までは分かりづらいと感じている。このような協定の情報共有については、議会にも詳しくしてもらうよう執行部に申し伝えたいと思う。
19	1班	畑野浦	【防犯カメラについて】 今、田舎の方で年寄りを狙った事件が起きているが、畑野浦とか1か所も防犯カメラはないと思う。	事件も多いので、防犯カメラについては、各家庭が設置を希望したら補助が出せるよう、働きかけをしていきたい。
20	1班	市役所	【災害への備えについて】 能登地震を見て、復興が遅れたりと心配している。発災前後の方針というか、具体的なものを考えておく必要があるのではと思っている。仮設住宅の場所や人をどこに移転させるといったところは準備しておいた方がよいかなと思う。	危険性が高まっているのは確かである。市としては大きな災害後にどのようにまちを復興していくのかということに対し、事前復興計画の策定に向け現在作業中である。

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会報告会場での回答等
21	1班	市役所	【長瀬橋について】 長瀬橋は狭く、老朽化しており危険である。実際事故も起こっていることから、架け替えの検討をお願いしたい。	確かに長瀬橋は築年数も経過し老朽化が進んでおり、旧豊南高校裏の道路が完成したことにより交通量も増加している。しかし、市も限られた予算の中で効率的な維持管理となった場合、順番というわけではないが、長瀬橋に関してはすぐには取りかかることはできないとの回答をいただいている。
22	1班	市役所	【番匠川河口橋について】 市場が鶴見に一本化されたら、それこそ番匠川河口橋が望まれるのでは。	番匠川河口橋については、我々も訴えていかななくてはならない部分だと認識している。
23	1班	市役所	【図書館について】 図書館が三余館のところに移転するかもという話を聞いたが、メリットがあまり見当たらないので、それよりはインフラの整備に力を入れてほしい。	御意見として受け止める。
24	1班	市役所	【区長会への補助金について】 予算がないから区長会への補助金を減額するという話が出てるときに、消防団の報酬は上げるとか何やってんだと思う。	区長手当を減らして、切り替えるという話ではない。今、補助金の支出に対し明確な基準をつくって、きちんと明文化した補助基準をもとに交付していこうという取扱いをしているところである。
25	2班	八幡	【放課後児童クラブの開所時間について】 放課後児童クラブの開所時間の拡大について、現場の声としては、個々のクラブが決めていた開所時間を、勝手に決められたというような印象が強い。共働きの家庭が多いので、延長に賛成の声が多いとは思いますが、現場全員が納得というわけではない。現場ともう少し話し合った方が良かった。どのような形で決まったのか教えてほしい。	委員会では、議案が提案されて審査している。市が勝手に決めたわけではなく、市が連絡協議会の方たちとしっかり協議した上での結果として、提案されている。各クラブの長が連絡協議会に出ていると思う。皆様に連絡があったかは、わからないが、協議会で決定し、形になっていると思う。
26	2班	八幡	【観光まちづくり佐伯の女性について】 一般財団法人観光まちづくり佐伯を設立したとのことだが、市報に設立時の記事が掲載されていた。壇上での写真では、20名程度の人が写っていたが女性が1名しか写っていなかったと思う。男性目線で佐伯の観光のことを、考えているのか。旅行に行くときには、女性の方の意見が強い。女性の意見を加味して、地域に呼び込むことの努力をすべきではないか。	以前の組織の役員が、ほとんど男性ばかりで、その設立時においては、男性が多く写られていると思う。新しい組織の中のさまざまな委員会や部会では、民間の方達がプレーヤーとなって入ってこないといけない。旧観光協会で協力していただいていたガイドの会など、女性の方が活躍されているところもある。民間のこれから事業を進めていく中で、男子も女子も働いている世の中なので、待遇を上げていく施策をきちとやっぱり行政は、考えてやらないといけない。なかなかこういうところで活躍できる場がなくなる。私たちも注意しながら、組織運営を見守っていきたい。
27	2班	八幡	【日本語学校開校について】 令和7年度の日本語学校開校は、無償で貸し出すことによって、将来的には200人を超える受け入れ体制を目指しているとあるが、文化や教育なども全く違うところの人が200人に入ってくるということは、メリット・デメリットがあると思う。それを加味した上で、無償化したのか。それとも国の政策で外国人を受け入れる流れでなかったのか。	企業誘致として京都民際に進出をしてもらった。日本語学校は、誘致の条件とは、関係ない。都市部で開催する企業誘致イベントで佐伯市をPR活動する中で、マッチングすることができた。長く業務をしてもらいたいということで支援をしている。
28	2班	八幡	【葛港市場について】 市場が鶴見に移るとのことだが、魚市場は葛港には、全くなくなるのか。鶴見に行くために番匠川河口橋の計画が昔あったと思うが、今も計画されているのか。	説明したとおり、佐伯市には公設市場が2か所あるが、これを鶴見の1か所にするということ。市から葛港市場の競り機能などを、民間経営として、漁協佐伯支店のところで開設する方向性で、調整していると聞いている。番匠川河口橋は、促進期成会があるので県に対して要望を上げている状況である。

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会報告会場での回答等
29	2班	八幡	【オーガニックシティについて】 佐伯市が「オーガニックシティ」を前面に打ち出してやっているが、どこまで進んでいるのか。	市長の言う「オーガニックシティ」の概念というものは、循環型経済を含めた社会のすべてがオーガニックだという考え方。数値目標とかそういうものが提出されていないので、お答えはできない。
30	2班	八幡	【議会の話題について】 議会ですべてということが話題となっているかが分かりづらい。テーマごとに分類・整理してほしい。政策研究会で人口問題について提言書を作成するとのことだが、非常に大きなテーマで調査項目も多いと考える。提言書の作成は、スケジュール通りに進んでいるのか。	テーマの整理については、議案も多く、議会報告会は、要点を絞ってお知らせしている経緯もある。人口問題については、昨年6月から研究会を立ち上げて、資料を集めながら、提言書を作成する準備をしている。今のところは、スケジュール通りに進んでいる。
31	2班	八幡	【企業誘致について】 佐伯市は、企業誘致の現在の取組はどのようになっているのか。誘致ができれば、若者が増え、少子化対策にもつながると考えるが。	佐伯市の立地的な問題などで、熊本県のような大型案件の誘致は難しいと思う。市の担当者が首都圏に向いて企業とのマッチングを地道に頑張っている。
32	2班	八幡	【人口減少と地球温暖化について】 高齢になると人口減少と地球温暖化の問題で次世代のことが気がかりだ。給食無償化の財源の話や状況を聞くことがよく分かった。効率的な予算の使い方を考えてほしいし、まずは困っている人の無償化を進めてほしい。地球温暖化対策について、市の取組が遅いと感じる。経済部門を停滞させてないようにしながら、産業部門を巻き込んで協議会などを立ち上げて取組を進めてほしい。	議会の中でもブルーカーボンや森林クレジットの取組を提案し、佐伯市も取組を始めているところである。成果が出るのはもう少し後だとは思いますが、SDGs の考え方もあるので、行政としてどう取り組んで行くかを考えていきたい。
33	2班	八幡	【報道について】 先般の報道で、人口戦略会議が発表した消滅可能性自治体に佐伯市が入っていた。自治体によっては、10年ぐらいかけて脱している自治体もあるようだ。じっと待つのではなく、市と議会が両輪となってこれをひっくり返す気概で10年、20年と取り組んでほしい。	回答は特になし
34	2班	八幡	【海崎駅前について】 五、六年前の大雨で海崎駅前は、六十数軒の家が床上浸水した。市役所に、排水があまりできないので確認を依頼したところ、暗渠になっているため分からないという回答しかない。今後は、床木海崎停車場線の整備も控えていることから、駅前の床上浸水がますます多くなると思う。排水対策を依頼する要望書を提出しているが、ちゃんとした回答がない。そこをしてほしい。	地元議員として、市の返答に確たるものがなく、大変申し訳ないという思い。一緒に現場も見したが、市としては他事業の緊急性などを勘案して判断しているとのことなので、今後も担当課とも協議して進めていきたい。
35	2班	八幡	【災害時の対応について】 南海トラフ地震あった場合には、海岸に近い地区は大きな被害が想定される。各地区個別での対応ではなく、被害を受けなかった地区が助ける横の連携が必要と考える。被災した地区があれば、その地区を助けるために更なる備蓄も必要となると思うので、補助金の使い方に柔軟性を持たせてほしい。	地区によっては、防災倉庫を活用して個人の備蓄スペースも確保して備えている。災害時の対応について、地区単独だけでなく、横の協力体制についてご提案をいただいた。補助については、担当課に確認をしたい。
36	2班	米水津	【報道について】 先日の報道で消滅可能性自治体の記事が載っていた。10年20年の先を見たときに、佐伯市もおそらくそうなるのではないか。どういう考えを持っているのか。	人口が減ることによって雇用・福祉・消防団など様々な活動が制限されてきている。暮らす方のライフスタイルの変化もあるので、これからの行政は状況に合わせて変化していく柔軟な考えを持って運営していく必要があると考える。議員としても市に対して今後も様々な提案をしていきたい。
37	2班	米水津	【仕事について】 子供たちも都会で生活をしており、帰ってきてても仕事がない。佐伯市で何か企業を興してくれば、帰ってくることもできるのではないのか。	佐伯市としても平成26年度から令和6年度までに17社の企業誘致をしている。今の有効求人倍率は1.1倍を超えており、業種を選ばなければ求人はある状況。市としても民間の起業に対しての支援と企業誘致にも取り組んでいるので理解をいただきたい。

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会報告会場での回答等
38	2班	渡町台	【旧税務署について】 旧税務署の建物使用にあたっては、補修及び維持管理の費用というのは市が負担するのか。	進出企業である京都民際がスタート時点の補修は自社の負担で行う。ただし、貸付期間が長いので、その後については、相談に乗り協議をしていくとのこと。
39	2班	渡町台	【空き家対策の法律について】 空き家対策の法律が先般改正されて、市の担当者に管理不全空き家の有無について問い合わせたところ、判定基準がまだ決まっていないと回答があった。これを明確にしてほしいと考える。	管理不全空き家の規定については、近々に担当課も規定を作ると話がある。しかし、空き家のデータを見ても、直近では平成29年のデータしかない。これで有効な施策が打てるのかを危惧している。住宅を見ていてこれは危険だなという建物もあるので、今後の市の対応についても注視をしていきたい。
40	2班	渡町台	【空き家について】 佐伯市出身の友人が市外に居て佐伯に帰ってきたいとのこと、家の相談を受けている。外から見ても空き家だなと感じて、不動産屋に相談するが借りられない、買えない物件が多い。何とかならないか。	個人が所有している物件について行政が関与するのは難しい部分がある。移住の方には、空き家バンク制度や移住定住の補助金を活用していただくのがよいのではないかな。
41	2班	渡町台	【議会報告会について】 議会報告会は、参加者の意見や議員の意見を聞くことができて大変良い機会となった。このような会議を高校生や小学生などにわかりやすい言葉で行っていくことによって、政治への理解度が小さいころから養われていくのではないかな。このことが将来佐伯市を良くしていこうという気持ちにつながっていくのではないかな。	未来議会の取組も行っているが、若い世代に自分のまちの興味を持ってもらうこと、ふるさとを自慢できることも含めて、今後の取組を議会としてもできればと思っている。
42	2班	渡町台	【議員定数について】 人口が減ってきているが、市議会議員数がまだ多い。減らすことによってほかの部分に予算を回すこともできるのではないかと考えるが。	市議会議員の定数については、現在25名から、来年4月の改選から3名減って22名となる。常任委員会の数なども勘案してこの形となった。
43	3班	大入島	【葛港市場の廃止後の用途について】 葛港の市場の廃止後の使い道というのは、何か話が上がってるのか。	私たちが報告を受けてる部分は、葛港市場を令和7年度末に終了し、公設市場をなくすこと。今運営をしている県漁連がそのあと続けてやるのかどうかというのは私たちも分からない。(廃止後の使い道は)聞いておらず、明確にされていない。
44	3班	大入島	【葛港市場の廃止後の土地について】 結構広い土地のため、プロジェクトチームをつくるなりして、葛港から佐伯駅一帯の部分は再開発について、もう今の段階から本格的に検討を始めてはどうか。	議会としても考えていかなければならないところで、その方向性をまず、県漁連も含めてどうするのかという答えをいただいた後、考えていく方向になると思う。
45	3班	大入島	【葛港市場の廃止について①】 廃止になることが決まった段階で、その跡地をどうするのかは考えていなかったのか。修理することも考えてないのか。	佐伯市総合計画の中に再開発をうたっており、それに向けてやっていくという報告は受けている。廃止する一番の原因が老朽化ということで、市としても建替え、リノベーションするという方向は向いていた。ただ(入札に)業者が来てくれないので、結局断念せざるを得なく廃止となった。
46	3班	大入島	【葛港市場の廃止について②】 鰯見に一本化した場合、船の油代が倍くらいになり漁師を辞めざるを得なくなる。どうにかして佐伯の港周りにできないか。	(漁協の)佐伯支店の前に市場(民設)という話も出ているが、結局、県漁連のほうがそれを建てるか建てないのかという話である。佐伯市としてそこに補助を出すという考えは今のところないようである。
47	3班	大入島	【日本語学校について】 (生徒は)日本語学校で学びたい人なら誰でもいいのか。それとも技能実習生などの就労する人が対象なのか。佐伯にそれだけの人数の留学生がいるのか。	対象は留学生で、就労目的の学校ではない。令和7年10月に開校し、最初の募集は1学年100人。将来的に200人にしたいとのことである。京都内ですべて開校しており、今何百人かずっと留学生がいる。その一部を佐伯に学校を持ってきてやりたいという意向である。

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会報告会場での回答等
48	3班	大入島	【危険空家について】 石間地区では約半分がほとんど空家になろうかとしており、危険な空家も出てきている。市のほうでそういう空家対策をどのようにしているか伺いたい。	皆様方の周りの中で危険な空き家があれば、市のほうにまず言ってほしい。市のほうで調査をして、特定空家の指定をすることが必要である。特定空き家というのに指定をしたら、行政のほうで、その所有者辺りを調査する。はっきり所有者分かれば、そちらのほうに勧告をしたり、命令をしたりして、空き家を撤去してくださいということになる。
49	3班	宇目	【高校の授業料無償化について】 宇目地区は通学に対して時間や交通費などの負担が多い。そこで、佐伯市だけで決められないかもしれないが、高校の授業料の無償化を給食費の無償化のように検討できないか。	県立高校については、所得の上限があるが無償化になっている。また、私立高校については一部免除となっている。なお、市としては、遠距離通学の通学補助を制度化している。
50	3班	宇目	【人口増加の取組について】 先日ニュースで2050年の日本の人口が6,000万になるような話が出ていた。豊後大野市や佐伯市が消滅の危機がある半面、豊後高田市は移住希望が多く、そういった心配がないようである。佐伯市として、人口を増加させる取組は何かあるのか。	佐伯市としては少しずついろいろな取組をやっている。例として、所得制限なしの保育料の無償化、移住希望者に対する施策、看護師などの就職費用支援、奨学金の返済免除など、実はいろいろな施策をとっている。
51	3班	宇目	【林業の後継者確保について】 林業に従事しているが、切り出しをする人は高齢者が多い(60～70代)。事業の継続、産業の振興を考えると跡継ぎが不可欠である。仕事として、ある程度の収入がしっかり得られる、結婚しようとか子供を持とうとかいった将来の描ける仕事になっていかないと衰退してしまう。何か、若い方々がそこに興味を持って、将来が描けるような仕事になってほしい。	産業ごとにやはり人材の不足というのが否めない状況ではあるが、今の状況をしっかりと協議して執行部のほうに伝えたいと思う。 国も大規模伐採から自伐型林業のような中小規模の助成を増やしている。そういう小規模な林業経営体が成り立つような仕組みなどに補助ができるようになれば若い人の就業が可能になるのではないかと。また、大分県でも林業の学校ということで後継者づくりに取り組んでいる。
52	3班	上浦	【若者の地元への定着について】 市内に高校が3校あるが、地元での就職率は低いのではないかと。地元に残ってもらえるよう議会として高校へ出向き、生徒が何を求めているか聞くべきである。その中で、地元に残ってもらえるようなシステムができれば消防団員の不足も解決できると思う。	高校生の進学率が高く、地元に残らない状況ではあるが、市内企業が年に1回から2回、高校生向けの説明会を開催している。私立の文理大付属高校においても、いずれ佐伯市に戻ってもらえるような取組を今後やっていくと聞いている。議会としてもしっかりとバックアップしていけたらと思っている。
53	3班	上浦	【総務常任委員会の行政視察について】 消防団に関する行政視察に行ったとあるが、何かそれから発展したのか。	国の基準を上回る報酬を出している三郷市への視察を踏まえ、消防本部に働きかけた結果、報酬の増額につながっている。また、出初式等の簡素化も同様である。
54	3班	上浦	【佐伯の公設市場について①】 鶴見にまとめることは魚の量が少ないから仕方ないとしても、地元の一人乗りの船(船外機)で漁をする人が市場に持っていけないのではないかと。また、車で運ぶ場合は鶴見に行くまでの道路が混み合うと思うが、緩和対策とかとっているのか。	今2つある公設の市場を鶴見だけにするということであり、葛港の市場については、佐伯魚市場、県漁連が今の佐伯支店前で民間として行うような話を聞いている。可能なかどうか、きっちりした話は出ていない。
55	3班	上浦	【佐伯の公設市場について②】 鶴見に一本化して今度は民間でというが、整備する際に佐伯市の補助金なんかは出るのか。運営が成り立つにはやはりそれなりの、市が補助金を出してやらないと前に進まないと思う。小規模でも新たに造るような考えを提示してから、この問題(廃止)を出すべきではないか。佐伯市の漁業者を置き去りにするようなもの。計画を見直すべきである。	委員会の中でも、市が全部建ててあげて、あとの運営や維持管理はしてもらう形でなければいけないのではないかと話も出ている。今のその中で、佐伯魚市場、大分県漁連のほうで民設で造るという話がまだ出ておらず、流動的な話である。先ほどから言うように、去年の12月22日にいきなりこの話が出てきた。その中での議論に今なっている。今後どうするかについて、引き続き所管事務調査をしていかなければならない状況である。
56	3班	上浦	【政策研究会の取組について】 佐伯市は海あり山ありで日田市と比べても住みやすい町だと思う。去年も言ったが、やはり移住して人を増やしてもらうことを考えるべき。(資料には)研究の主な内容が書かれてないが、どういうことか。人口減少を指を加えて見とるだけか。 1年もかかって進んでないのはどういうことか。	調査研究の途中であり、結論について今言える段階ではない。ただ自分としては、農林水産業で所得を増やしていく施策が必要と思っている。 調査研究は2年単位で行っている。議会として執行部に政策的な提言をするには1か月、2か月でできるものではなく、皆さんもこの人口減少対策をぼっとは思いつかないだろう。長い提言書を作成しているので、でき上ったら見てほしい。

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会報告会場での回答等
57	3班	上浦	【給食費の未納について】 同じ学校に行きよるのに払いよる人と払わない人がいる。このために父兄から文句が出ている学校があると思うが、市は把握できているのか。	以前通っていた方の滞納分は残っているが、今通っている子供たちの未納はない。
58	3班	上浦	【東雲の給食センターについて】 給食センターについて、市の総合計画とかを見るとセンター方式というか合併という話が出ている。東雲の給食センターがどうなるか不安を持っているが、その辺の情報は入っているのか。	センター化の方向で統合になるというふうに思っているが、一応その指針については改めて市のほうから示されると思う。
59	3班	上浦	【不登校への対応について】 不登校の子供たちがなぜ学校に行かないのか、その理由を把握して、その子にあった学校へ通えるように支援できないか。学校としての受入れはできると聞いているが、取組の周知が不十分でないかと感じる。	佐伯市全体で不登校については各校に1人2人いると聞いている。その対策として、コーディネーターやメンタルケアの方を派遣したり、大規模校に合わない子を小規模校で受け入れる体制もやっている状況である。
60	3班	上浦	【晩嵐川の橋について】 浅海井地区としての要望である。橋の下鉄板が腐っているが、市からは修理はせずに崩れたら取り除くとの説明を受けている。しかし、地区としては避難道路に一番接しているため、修理をして残してもらいたい。	建設課のほうに確認をしたいと思う。
61	3班	上堅田	【児童クラブの現状について】 市の方は、①施設の現状(利用者が増え手狭になっている)、②支援員の成り手不足(数時間の勤務、雇用条件がよくない)を把握しているのか。また、障がいを抱える児童に対する配慮(支援員に対する教育など)はされているか。	今年度、教育民生常任委員会で児童クラブの現地視察に行き現状を確認する。支援員に対する研修の状況は把握していない。雇用面も含めて調査して対応していきたい。
62	3班	上堅田	【人口減少の理由について】 減少の理由をお聞きたい。理由を把握しないと対応のしようがない。	数字からの推測となるが、10代後半から20代は進学による減少。また、50、60代あたりも子供のところに行くため減少していると考えられる。生まれる子が少なく、自然減も進んでいる。
63	3班	上堅田	【成り手不足等について】 人口減少に伴い地区の役員、区長、民生委員の成り手が少なく、区長が兼任しているところも多い。また、各地区で区費の金額が異なっており、同じ佐伯市に住んでいても格差があると感じる。その辺をどう考えているのか。	新しい地域コミュニティ組織という発想は実はそこから出ている。区が幾つも集まって一つの自治組織としてコミュニティ組織をつくることで、区が一人一人出している役員を減らしたり、行事の維持が可能になる。区費についても解決できると思う。
64	3班	上堅田	【佐伯市の職員数について】 議員さんから見て佐伯市の職員の数は妥当と思うか。	個々の見解を説明。
65	3班	上堅田	【会計年度任用職員の処遇について】 自分自身も会計年度任用職員だが、幼稚園の非常勤職員も同様の待遇が多いと聞く。年収200数十万円で、毎年面接試験を受けるなど不安定な雇用状態である。人口減少対策として所得対策を考えるなら、官製のワーキングプアの状況をどうにかすべきではないか。	貴重な意見として賜りたいと思う。
66	3班	上堅田	【岸河内の山林整備について】 運動公園回りの山(岸河内側)に木が茂っており、イノシシや鹿のすみかとなっている。特に子供の遊具があるところを整備することで、岸河内に面白いトレッキングコースやアスレチックができるのではないかと。楽しい地区になるように力添えをお願いしたい。	貴重な意見として持ち帰って調査してみたい。

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会報告会場での回答等
67	4班	青山	【イノシシ被害の対策について】 イノシシが多く狩猟するが相当負担で難しい。捌くのに設備をわざわざ作るのも後片付けも負担。猟しやすいような仕組みを考えてもらいたい。	報酬が先走って報酬をもらったら後はほったらかしというの目につく状況。正式に行政としては報酬を出しているのだから片付けをするように伝えている。
68	4班	青山	【青山小学校を避難場所として活用することについて】 青山小学校が統合され、跡地の活用として南海トラフの避難場所とできないか。	学校跡地の再利用については方向性を出していきたい。地域で十分利活用できるような跡地利用を考えていきたい。
69	4班	青山	【森林環境税を使った取組について】 森林環境税を使った取組を林研グループに援助してもらえば。	まず執行部に要望書を持って行って、判断を確かめる必要がある。その後議会のほうでできることがあれば支援する。
70	4班	青山	【議会報告会の開催時間について】 夜7時からできないのか。上半期下半期に分けて開催できないのか。田んぼの時期を避ける配慮してほしい。	青山地区では地域の実情を考えていただきたいという意見を反省会で出す。
71	4班	青山	【地籍調査について】 地域調査などの分合筆のその管理ができていないのか、その手数料条例にその数値の部分が手数料条例に載っているのか。	17条地図というのを法務局の完成後全部納めてしまう。あとはもう家屋調査士と法務局とのやりとりになる。市は一切そこには関与できない。
72	4班	本匠	【葛港市場の設計料について】 2,000万円を超える設計料は捨てるのか。	葛港の委託料については所管事務調査の中では審議していない。
73	4班	本匠	【本会議の反対意見について】 高司政文議員は、総務委員長でありながら、教育民生常任委員会が満場一致で決めたものに対して、本会議で反対意見を述べているのはどういうことか。	委員会に従わなければならないというところでもない。当然、今回の給食費の請願についても、委員会としては継続審査で委員長報告したが、本会議でそれは否決された。その上でこの請願は多数決によって可決されたわけで、これがすべて申し合わせに決められたからそうならなければいけないというところまでの、申し合わせ事項としての効力は持っていない。本人には申し伝えたい。
74	4班	本匠	【議員定数削減と報酬増について】 議員定数を削減して報酬を上げることに、メリットデメリットがあるのか。	削減と報酬を上げたというのは、リンクはしていない。最初に今の議員定数はどうかということを議論してきた。市民との意見交換会を踏まえた上で、今の人口の中での割合を考えたときに、22人が妥当であろうと。報酬については、今の業務量に対して議員の報酬として妥当かどうかというところいくと、なり手不足いろいろ考えたときに、やはり20何年報酬も上がってなく、ある程度の報酬は必要だろうと、そういった中で7通りくらいの根拠を持って、報酬審議会に提出したところ、1万9,000円が妥当だろうという答申に従い報酬を決定した。
75	4班	本匠	【小半鍾乳洞について】 小半鍾乳洞は閉鎖して何も進んでいない。昨年言ったが、道路が1か所狭い。	地域が一丸となって、名所になるところを要望書をつけて市のほうに出していただければと思う。道路の幅が狭いところ、佐伯三重線、県が管理している県道。そういったところを図示して、振興局のほうに持ち上がっていただければ、また振興局のほうで、県道であれば県の調整係のほうに話がいくと思う。

No.	班	会場	議会報告会における意見・要望等	議会報告会場での回答等
76	4班	鶴見	【避難地の基準について】 防災倉庫を置く基準が農地は駄目ということになっている。基準を市民でもわかりやすくやりやすいように下げていくような方策も議会と農業委員会等で法的な問題等について協議してほしい。	法的なところが大きい。まずは地区の意思統一をして要望をあげ、その回答をもって議会に報告してもらい、一緒に課題解決していったらと思う。
77	4班	鶴見	【振興局の機能強化について】 合併後、振興局の機能が落ちている。職員の給与でも8等級から7等級に変わった。地域の機能を高めるために振興局の権限を最大限発揮できるようにしていただきたい。振興局の機能を強化すれば、人口流出を止めることができると思う。地域をつくるためには、振興局の機能が大事。行政のトップがどう地域を見ているか。振興局の機能を今後高めていただきたい。	地域の意見をどのように考えていくのか、執行部に伝えていく。
78	4班	鶴岡	【消防団員の定数について】 鶴岡地区の定数は不足になっているか。不足の原因は。	出初め式、操法訓練をやりたくない、報酬が低い、報酬が直接入らないという意見がアンケートにはあった。総務常任委員会の所管事務調査に活かしていきたい。
79	4班	鶴岡	【人口減少対策について】 人口減少対策ではなく増やすべきだと思う。何を具体的な目標にしているのか。佐伯市に住んでいる人が一番住みやすい街とはなにかをテーマにするのも必要。これから大きいテーマで議員さんに考えてほしい。	議会として、提言書の作成に向かっているのですがそのときにはお伝えできるのではないかと思います。話し合っていきたいと思う。
80	4班	鶴岡	【地場産食材の使用拡大について】 学校給食に地場産の食材が使われているか。	すべて地場産ではない。
81	4班	鶴岡	【住居表示について】 正式住所は大字鶴望、簡易住所は王子丸区となっており一本化してほしい。	住居表示には市は取り組んでいるが、鶴望は聞いていない。ほかの2つは承知しているが、こちらも取り組んでほしいと要望書をあげれば状況は変わると思う。
82	4班	鶴岡	【市営住宅の取り壊しについて】 坂山区の市営住宅を処分する流れをしていただきたい。	地元としても取り壊してほしいという要望があれば伝えてはどうか。
83	4班	鶴岡	【住居表示関連：郵便の住所について】 旧表示だとどこの家か分からないことが多い。	政策研究会で提言書を執行部に出してから住居表示については状況が変わった。鶴岡地区の住居表示もきちっとしてほしいという要望書を出すことが重要。